

3年間の活動内容

2022年 立ち上げ



2023年 実施・展開



2024年 仕組みと発展



キックオフイベントには、78名のコーディネーターが集結し、スタート。磯子区、保土ヶ谷区での伴走支援。報告書はこちら
学生×若者についての意義について考える報告会も実施。



定期的な情報交換の場として、ゼミの立ち上げ。また、ゼミメンバー以外の方も参加できるノウハウを学ぶ勉強会も実施。報告書はこちら
情報共有も行えるようSlackでの職種を超えてのつながりの場づくりも行う。



4回行ったゼミを通し、様々な視点から（ケアプラ、自治会、青少年拠点、男女参画センター、大学 etc..）コーディネートについて事例検討。横浜コーディネーターキャンパス3年間の歩みの集大成として、シンポジウムを開催。

3年間でわかったこと

3年間の活動を通じて、地域における若者参加への関心やニーズは高い一方で、受け入れの経験やイメージには差があり、「どのように関わってもらえばよいかわからない」という声も聞かれました。また、コーディネーターや行政も若者の関わりの重要性を理解しているものの、制度や組織の壁といった課題が存在します。

こうした中で、若者・地域・行政それぞれの立場を理解し、緩やかにつながる「場」と、それを支える「仕組み」の重要性が明らかになりました。キャンパスは、今後もその土台としての役割を担っていくことが期待されます。



▲思いベースの若者、課題ありきの地域、このすれ違いから双方の理解を促すコーディネーターが大事

世話人募集！



横横浜コーディネーターキャンパスは今後有志での運営を継続していきます。参加メンバーを募集していますので、是非世話人として活動を支えてください。

ゼミメンバーへのご登録はこちら！



発行月 2024年3月
発行元 NPO法人アクションポート横浜
URL <http://actionport-yokohama.org>
作成 岡部凜、高城芳之

若者

アクションポート
YOKOHAMA

横浜 コーディネーター キャンパス

2024年度 報告書

地域

横浜コーディネーターキャンパスとは

横浜市内の学生×地域のコーディネートに関わる公共施設やNPOのコーディネーターが分野横断的につながるプラットフォームとして2022年にスタートしました。若者を軸として、様々な人が活躍できる地域土壌を耕していくこと、そして、若者と地域をつなぐコーディネーターの認知度と価値を高めることを目指します。現在、40施設・団体のコーディネーターが登録しています。
<http://www.co-campus.yokohama/>

まずはHPを是非ご覧ください！



情報や事例の蓄積、共有



学び合いの場づくり



実践と発信の場づくり



2024年度の活動

ゼミの運営と事例検討



若者×地域をつなぐ事例や情報を蓄積し、共有する場としてゼミを開催。

仕組みの発展

第1回 8月30日(金)@洋光台北団地集合所 参加者：32名

中学生で自治会委員となった鈴木さんの経験をもとに、
「地域活動に主体的な若者」を増やすコツについて考えた。



ゲストスピーカー：
鈴木 梨里子氏(横浜市磯子区 Brillia City
横浜磯子自治会役員)



詳細は
noteから！



第2回 10月18日(金)@竹山団地 参加者：19名

団地で学生が寮生活を送り、地域に関わるサッカー部員たちの活動事例を共有。
学生の成長×地域社会の活性化



ゲストスピーカー：
神奈川大学体育会サッカー部
NPO法人KUSC



詳細は
noteから！



第3回 12月17日(火)@フェリス女学院大学 参加者：22名

大学視点(学生の興味)、地域視点(課題解決)、
それぞれのコーディネーション共有。大学見学ツアーも開催。



ゲストスピーカー：
①フェリス女学院大学ボランティアセンター
②横浜市新橋地域ケアプラザ
(しんばしスマホ推進委員会)

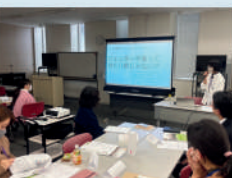


詳細は
noteから！



第4回 2月17日(月)@男女共同参画センター横浜北 参加者：22名

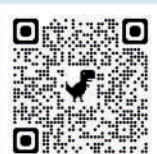
青少年拠点の学生コーディネーターならではのファシリテートのコツの共有。
ジェンダー×地域活動の新しい視点で意見交換。



ゲストスピーカー：
①あおばコミュニティテラス
②横浜市男女共同参画推進協会



詳細は
noteから！



ゼミメンバーには56名(39施設・団体)が登録中！！

40名以上の多種多様なコーディネーターが集結！

横浜コーディネーターキャンパスシンポジウムを開催！

3年間の集大成として、
地域の現場から得た学びや今後の課題を共有、未来へのアクションを考えた。



詳細はこちら



日時：3月3日(月) 14:00 - 17:00
会場：横浜市開港記念会館 6号室
参加者：48名

内訳：地域ケアプラザ9名、社会福祉協議会4名、青少年施設7名、市民活動センター4名、子育て支援拠点4名、大学ボラセン1名、NPO5名、行政4名、学生10名

3年間の歩みを支えてくださった多種多様なコーディネーターの方々にお集まりいただき、
コーディネートする中で感じた、各分野、フィールドにおける課題、想いを共有。

横断的なつながりづくりの大切さ

横浜コーディネーターキャンパスの存在意義について再確認



第1部

横浜コーディネーターキャンパス活動報告

本事業の3年間の活動内容、そこからわかったこと、どんなコーディネーターと繋がり合うことができるプラットフォームとなれたのかなど共有。

第2部

パネルトーク

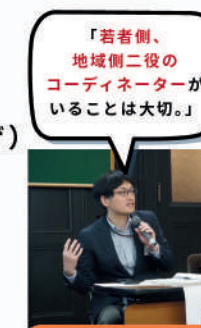
立場の違う登壇者の皆さんから「若者×地域の現場で感じる現状」、
「こんなふうになってほしい思い」とそれに対する「課題感」について
お話いただいた。

進行

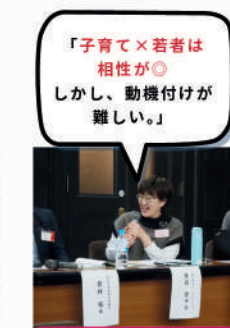
- ・細野瑞希氏(洋光台地域ケアプラザ)
- ・岡部凜氏(桜美林大学4年)

登壇者

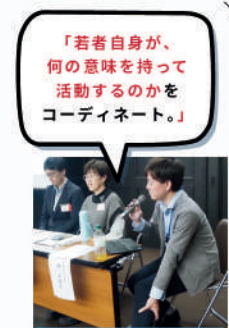
- ・若林拓氏(横浜市社会福祉協議会)
- ・南太貴氏(よこはまユース)
- ・東田信子氏(ラシク045)



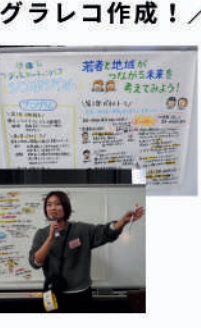
社協



子育て拠点



青少年拠点



グラレコ
滝本美奈代氏

第3部

ごちゃまぜ作戦会議

参加者の皆さんがごちゃまぜになって、感想の共有、
そして「若者×地域において良いコーディネートとは○○」について議論！

ファシリテーター 大久保智弘氏(あおばコミュニティ・テラス)